

## 令和5年度淀川区区政会議第3回コミュニティ力向上部会議事要旨

日 時：令和6年3月13日（水） 午後6時30分～午後7時51分

場 所：淀川区役所 5階 会議室

出席者：

- ・ 委員9名（9名中）  
大屋委員、杉原委員、鈴木委員、西尾委員、西岡委員、西垣委員、湊委員  
森委員、山本委員
- ・ 区役所  
岡本区長、橋本副区長、田口政策企画課長、畑中総務課長、山田市民協働課長、大橋政  
策企画課長代理、仲谷市民協働課長代理ほか

内 容：

1. 開 会
2. 区長あいさつ
3. 議長・副議長の選出
4. 令和6年度淀川区運営方針（案）について
5. 令和6年度淀川区関連予算（案）について
6. 区政会議におけるご意見への対応方針について
7. 個別テーマごとの意見交換

資 料：

### 【当日配付資料】

- ・ 次第、進行表
- ・ 区政会議部会名簿、座席表
- ・ 配付資料一覧
- ・ ご意見票
- ・ よどマガ！3月号

### 【事前配付資料】

- ・（資料1）令和6年度淀川区運営方針（案）
- ・（資料2）令和6年度区長自由経費予算事業一覧
- ・（資料3）区政会議におけるご意見への対応方針
- ・（資料4）個別テーマごとの意見交換について

## 1. 開 会

## 2. 区長あいさつ

## 3. 議題

### (1) 議長・副議長の選出

山本委員を議長、湊委員を副議長とすることに決定。

### (2) 令和6年度淀川区運営方針（案）について

○令和6年度淀川区運営方針（案）について区役所より説明

- ・防災経営課題1について、令和5年度より予算が300万減っているというところなんですけれども、やっぱり能登半島の地震等があった中で、少し疑問を持っております。

おもな戦略④各地域への個別避難計画作成の支援ということで、実際、個別避難計画の策定が必要な方々が何人ぐらいおられて、そして今どの程度進んでいるのかとか、やっぱりそういったことも含めて議論していく必要があるのではないかと考えております。（湊副議長）

- ・経営課題3のまちづくりのところで、実は令和5年度の予算で1,466万円の予算を計上されて、木川南小学校と西中島小学校の跡地の計画について企画をされて、今何がしらのものが多分できてきていると思うんですが、この二つの小学校跡地の再開発をどうしていくかというのは、地域の方々にとって非常に重要な課題だと思いますから、ぜひとも区役所としてもこの中に入れていただきたいと思っています。（湊副議長）

- ・万博につきまして、予算案の中にも幾つかの項目で計上されていますが、不思議だなと思うのはこの令和6年度の運営方針の中に、特に万博という言葉が出てこないことです。やはり3,000万円近くの予算を計上するのであれば、これを経費にどういった淀川区のまちづくりにつなげていくかというのは、運営方針にきちんと明記すべきではないかと考えますので、この3点を申し上げたいと思います。（湊副議長）

- ・自治会の仕事をさせていただいて、地域のいろんな取組の中に参加させていただいていますが、この資料を拝見しまして、ちょっと課題が多過ぎるんじゃないかなと思います。

区長に一つ質問したいのですが、これだけは、この二つだけは、この三つだけは、重点的に取り組んでいただきたいというのでなければ、あまりにも幅が広いので、コミュニティ力向上部会でこれだけあって、ほかの部会でももっとあると思うんですよね。だからある意味、私は区長のほうで、これだけは絶対に

取り組んでいきたいというお言葉をいただきたいなというふうに思います。

(杉原委員)

⇒ (別紙) 参照

- ・この資料の中で、十三エリア、確かに賑わいはなくなっています。僕の個人的な意見として、大型のショッピングセンターがないからなんです。商店街は賑わっていますけれども、最近の若い世代の人というか50代以下の人たちは、私どもは商店街で結構ですけれども、やっぱりショッピングセンターのような大規模なマーケットがなければ。淀川エリアの、淀川河川敷の活性化についても同じことが言えると思うんです。

だから、人が集まらなければどうしようもないですし、商店街を歩いてる方を見て、高齢者の方が多いんですよ。私は仕事上、加島のほうにも行かせてもらっております。特に市営住宅を見ていますと、もう7割8割が高齢者の方で、加島の方が十三へよく来られるんです。それもお年寄りの方が多いです。だから、もっと若い人を十三に集めて、活性化できないものかなと思います。(杉原委員)

- ・西三国地域は、町会長さんもどんどん若い方に変わって、来期は若い人が随分多くなって、高齢の町会長さんが退いていかれる。亡くなったりとかいろいろありまして。だから、活性化されるんじゃないかという期待をしております。私どもの町会も、40代、50代、60代、70歳の方が最高齢という形での組織になって、本当にいろんなことを企画されて、子どもたちをキッズリーダーという形で取り上げて、それで小学校から中学生、高校生までの方たちが皆さんいろんな授業とか行事にリーダーとして参加して、準備から最後まで手伝っていただいたりして、本当に若い人の力ってすごいなというふうに感じております。(大屋委員)

- ・防災のほうでの不安なんですけれども、やはり高齢で、一人所帯で頑張っておられる方がたくさんいらっしゃるんですね。そういう方がどういうふうに避難するのか。この間の能登の地震の後にも、うちのほうにもいろいろ電話がかかってきて、こういうときにはどうして逃げたらいいんだろうというふうな不安を抱えた方が、いっぱいいらっしゃいます。ところが周りを見ても、みんな同じ境遇というか、お互いに一緒に行こうっていうふうになるのも、ちょっと難しいということです。そういうときには一体どうすればいいのか、誰が助けてくださるのかというのが分からないというのが、本当に切実なる思いだと思います。

それと、避難所までも行けない、じゃあどこへ避難したらいいんだろうというふうな。ビルは立ってくる、マンションもたくさん建ってくる、でも、それに入るには解除しないといけない。そういうので、私たちはどこへ逃げたらいい

んでしようというふうなことを言われて、やはり日頃からの見守りとか、そういうのもすごく大切ですし、それをしていただく担い手というか、今はあるんです。やっていただいている方がいらっしゃるんですけれども、それって年に何度かだけで、もっとやっぱり地域の中で、皆さんで助け合っていけるっていうふうな、そういう組織が本当に必要だなと最近つくづく思うようになりました。(大屋委員)

### (3) 令和6年度淀川区関連予算(案)について

○令和6年度淀川区関連予算(案)について区役所より説明

・予算の金額の欄の歳出額と、下段の所要一般財源の違いが分かりません。  
(湊副議長)

⇒上の段の歳出額はお分かりになるかなと思うんですけど、下段は金額に対して、所要一般財源というのは、取りあえず区の予算について、この差が出てきているところは何かと言ったら、国の補助金というような形の分を組んで、この金額までもっていています。これは一つ一つ説明となると、ちょっとまた細かい作業になりますので、大体概略としてそういう形になります。(畑中総務課長)

・24番の地域交通支援事業について、私も仕事柄いろんなお話を聞かせていただく中で、公共交通の問題っていうのはかなり耳にする機会があるんです。こういうことをやられているんだなっていうのは私知らなかったものですから、何をやられているかだけ、教えていただければありがたいなと思います。(湊副議長)

⇒赤バスが廃止になったときの激変緩和という形で補助金、予算をこの間つけておりますので、令和6年度も引き続きつけさせていただくという趣旨になっております。(田口政策企画課長)

・どこに向けた補助金ですか。(湊副議長)

⇒赤バスの代わりになるような何か交通手段というんですか、我々もまだちょっと研究途上というところが正直ございますけれども、いずれにしましても、ふさわしい事業者さんが現れたら、改めて補助金としてお支払いするために、令和6年度も計上しているというところです。(田口政策企画課長)

### (4) 区政会議におけるご意見への対応方針について

○区政会議におけるご意見への対応方針について区役所より説明

・項番1について、回答の末尾で、来年度予算額については去る2月15日云々ということで、書いていただいております。それは半分理解しているんですけれども、大阪市全体としては、去年12月11日の要求段階、これの

公表についてということで、各部局からの要求内容が出ていると思うんですが、確かに12月11日という、この区政会議の開催日より後ですから、その時点で資料を出せないというのは理解はできますが、せめてこのタイミングで区政会議の日程を調整していただいて、こういったものをこのタイミングで一緒に見れるようにしていただくと、より意見が言えると思います。  
(湊副議長)

## (5) 個別テーマごとの意見交換

○部会をさらに二つのグループ（A班・B班）に分けて自由討議を実施。

自由討議の後、各委員より討議内容を発表。

### 主な討議内容

- ・高齢者の孤独死と、防災のテーマが二つ挙がりました。どちらも共有されることが多くて、地域と関わっていない方というのは、年齢問わず孤独死になったり災害の被害に遭いやすいということで、それを今後どうしていくかというところで、話を進めていきました。

国も推奨している人生会議の人生ノートを、うまく地域とかコミュニティで皆さんで日々更新して行って、そのノートとお薬手帳とか医療機関の情報が分かるものを見やすいようにしておけば、地域の方々、民生の方々が入ったときも、救急隊への対応がスムーズになるのかなと思いました。(鈴木委員)

- ・コミュニティは人と人とのつながりであり、それをまず基本とするのが挨拶だろうということで、区役所で各フロア数名、代表、挨拶委員みたいなものを設けて、来客とか職員同士の挨拶をまず徹底するというようなことから始めていただき、地域は地域で今でもやっておられると思うんですけれども、マンション単一であったり、あと小学校の見守りに対して、「おはよう」「行ってらっしゃい」の言葉を、相手が無視しても、やり続けよう。それが一番お金もかからずに、皆さんが仲よくなる一つの秘訣じゃないかなという意見がでました。(山本議長)

- ・防災面について、各家庭でどれだけの備蓄品を用意しているのか。区役所で18万人の1週間分の食料とか、当然備蓄しておくのは無理であろうと。地域でも小学校に備蓄しているが、おおよそ数千人分ぐらいしかなく、能登の地震みたいなものが来たときに、先に行った者勝ちみたいなことになる可能性もあり、町会で備蓄しているものに関しては、町会員だけに渡すということは、問題ないと思うが、大阪市からの備蓄品は、当然税金を払っているのだから、町会に入っていようが、入ってまいが、もらえるだろうというような意見を述べる方がいると思います。(山本議長)

- ・今後ともこういったことを、通常の部会に与えられたテーマ以外に、皆さ

んがふだんから悩んでいること、そういったことを持ち寄って、たとえ10分、15分でも、この部会の時間を作って、この2年間、みんなで何かよくなるようなことを話し合っていけたらなというふうに、これからもやっていきたいと思います。(山本議長)

## (別紙)

⇒地域福祉、地域防災、子育て、教育、魅力あるまちづくり、この五つをいつも申しあげています。

まず地域福祉です。生活困窮者の支援システムを、私が就任してから入れさせていただきました。役所は、実際窓口に来てから対応するという、いわゆる申請主義が一般的ですけれども、そうではなく、我々のほうが実際お困りになっている方を見つけて、その方に支援を届けていこうという逆転の発想をまず福祉の世界で実現していきたい。そのために、淀川区18の相談支援機関と区役所がしっかりつながることがまず大事ということで、「夢ちゃんワンチーム」を去年作りました。このワンチームを使って、お困りになっているけども、区役所に申請に来られてない方を我々のほうから、アウトリーチの手法で見つけていく。これを地域福祉の世界で実現していきたいと思っています。

次に地域防災です。災害対策基本法が改正され、障がい者、高齢者の方々に実際に避難をしていただくための計画書を個別に作っていくことになっていますが、単に計画書を作るだけじゃ意味がなく、実際、災害が起こったときに、地域の皆さんが、一人で逃げられない方を助けに行ける仕組みを、淀川区にしっかりつくっていくために、平時は、いわゆる日頃の見守り活動をしながら、実際に災害が起こったときに、その方を助けに行く仕組みを構築するために、この2年間、取組をやっています。現在、18地域のうち、間もなく9地域で構築されます。

三つ目が、子育てです。妊娠期から3歳児までは定期的に健診があります。ただしそれ以降、小学校に入るまで、ほとんど役所に来られないので、その子が今どうなっているか分からないので、淀川区役所独自の仕組みですが、4歳児と5歳児をしっかり把握するために、保育所、幼稚園に職員を派遣させて、ご家庭の困り事とか、子どもの発達とかについて聞いてきて、そういう方に福祉的な、アウトリーチ手法によるアプローチを行っています。

四つ目が、教育です。最近、不登校の子どもが急増しています。教育委員会でもいろいろやっていますが、やはり十分ではないと思っています。その子どもたちを区役所でも何とか支援できないかということで、学校とも話をしました。学校に来ている子で教室に入れない子どもは、学校の先生などが別室で対応をしていますが、やはり先生方は非常に忙しいので、子どもへのケアが十分ではありません。そこで、ご家庭まで迎えに行って登校支援をしたり、別室で子どもたちの面倒を見たりしていただく方々の人件費を、区役所で負担するというので、今回モデル的に小学校1校、中学校1校で実施をして、3年間で拡充していきたいと考えています。

最後は、まちづくりです。これはあまり運営方針で掲げている区は少ないですが、やはり淀川区がこれから発展していくためには、若い方にたくさん来ていただくことが街の活性化につながるという考えのもと、一方、区役所の予算は限られていますので、外からのお金を引っ張ってきている状況です。

一つは新大阪。国から都市再生緊急整備地域の指定を一昨年受けました。これを受けると、建物を造り変えようとする規制緩和が受けられますし、国からのお金も入ってくるので、まちづくりが進みます。リニアや北陸新幹線が入ってくる予定なので、それらを踏まえてまちづくりをこれからやっていく。そして、大きなショッピングセンターみたいなものもできるというふうに思っています。

次に、十三。淀川河川敷で、民間事業者の力を借りて、ここを賑わいのエリアにしていく。また、国が船着場整備をして、そこから万博会場まで行けますよという理屈で、十三の船着場周辺の河川敷整備をしています。これができれば、飲食店、バーベキュー会場、アウトドアのグランピング施設などが出来上がり、新しい若いお客さんが来るだろうし、区役所の跡地についても、この4月には履正社の専門学校ができて、若い学生さんが十三辺りに来るので、まちづくりの取組はしっかりとやっていきたいです。

以上、今申しあげたこの5点。私の中では最重要施策ということで、取組を進めています。(岡本区長)